

最優秀賞 学校

福岡県立筑前高等学校

生徒が率先して環境美化活動を実施



通学路に沿った周船寺川を「多くの生物が生息でき、子どもたちが遊べるような美しい川にしたい」という願いと、地域住民への感謝の気持ちから、環境美化・自然環境保護に努めている。「周船寺川を守る会」にも加入しており、生徒がボランティア活動を楽しみながら行っている。

年4～5回、学校周辺及びJR周船寺駅から学校までの通学路、周船寺川とその周辺において、ごみ拾い・除草作業等を放課後に実施しており、この活動は平成6年から継続している。

また学校内では紙類のリサイクルを徹底し、日頃からごみの減量化を心がけ、環境保全意識向上に努めている。

優秀賞 個人 篠原 ヤエ子

自宅にリサイクルボックスを置き地域の資源物回収に一役

20年以上にわたり、地域の環境美化、ごみ減量リサイクルのため自宅敷地内にリサイクルボックスを設置し、地域の方がいつでも資源回収に取り組めるよう常時開設している。古紙等の誤った出し方をされた方に対しては適切な指導を行っており、地域住民の環境美化に対する意識向上に貢献している。

また自宅に専用の廃油石けん場を設け、年に数回は講習会での講師も務めるほど、廃油石けんづくりに精通しており、廃油石けん得た収益は福祉活動に寄附をするなど、町内の方からの信頼も厚い。



優秀賞 個人 清水 増二

地域のごみ減量・資源回収・環境美化に貢献

和白東環境活動連絡会の会長として、校区紙リサイクルステーションの立ち上げに奔走。管理責任者として、資源物の受入、分別点検、分別指導、倉庫内の整理等年間100日間にわたり活動を行っている。町内会では、平成10年から全世帯参加の町内清掃を3ヶ月に1回実施。

また、平成18年から資源物回収を軒先での回収に変更して毎月実施。高齢者からは持ち出しの苦勞から解放され大変歓迎されている。地域住民に声をかけし、11年連続でラブアース・クリーンアップへ参加しており、地域のリーダー的存在として活動を行っている。



優秀賞 団体 梅林第二団地

団地住民が結束して環境美化活動を長年にわたり継続

町内の約8割の世帯が参加し、2ヶ月に1回、町内清掃及び団地まわりの側溝の土上げを実施。自分たちが住む団地は自分たちできれいに、との思いから平成2年に団地が建て替わった時から行っている。年々高齢化してきている団地だが、出来る人が出来る範囲で継続している。

また町内にリサイクルボックスを設置し、いつでも住民が古紙等を持ち込めるようにし、団地住民のリサイクルに対する意識向上に役立っている。



優秀賞 団体 草ヶ江校区ごみ減量リサイクル推進会議

様々な講座による啓発活動でごみ減量

古着を使った布ぞうり作り、生ごみを堆肥化するダンボールコンポスト、油を捨てて川や海を汚さないために廃油で石けんを作るリサイクル学習会の開催や、野菜くずを活用したエコ料理教室を高齢者配食弁当のボランティアスタッフへ実施するなど、年間を通じてごみ減量・リサイクルのための様々な啓発活動を行っている。

またイベントでのパネル展示等により、ごみの正しい分別とリサイクルへの関心が地域に広まっており、校区のごみ減量への寄与度は高い。



優秀賞 団体 松友会

天候に関わらず松島公園の清掃実施

平成5年に会を結成。地域の方々に対する奉仕の精神で、結成以後晴雨に関わらず、毎月第4日曜日に東区松島にある松島公園の清掃を会員全員で実施している。

住民の憩いの場となっている公園がいつも清潔に保たれているため、最近では地域住民の方も自主的に参加するなど地域の方への啓発にもつながっている。



優秀賞 団体 福岡掃除に学ぶ会

「日本一綺麗な博多駅をめざす」をスローガンに活動

ユニバーシアード福岡大会を契機として、九州の窓口である博多駅を「日本一綺麗な駅を目指す!」というスローガンを掲げ活動を始めた。

天候に関わらず毎月8日早朝から駅周辺の清掃活動を行っており、継続することで次第に駅を利用する高校生等にも活動の輪が広がり、今では幼児から老人まで幅広い世代の方が参加する活動となっている。

また平成10年に始めた「クリーンアップ博多デー」が、今では毎回200名以上の参加がある市民運動へと発展している。

